

Media Information

令和3年2月20日 神戸新聞

新型コロナウイルス感染防止対策の啓発ポスターが掲載されました。

2021年(令和3年)2月20日 土曜日

神戸新聞

緊急事態宣言受け

職員登場し啓発ポスターを作製

社会福祉法人自粛呼び掛け

新型コロナウイルスの影響で高齢者施設では感染対策を強化するなど厳重な警戒が長引く中、社会福祉法人三幸福祉会(明石市大久保町大窪)は、職員向けのユニークな啓発ポスターを作製した。現場で働く職員を登場させ、共感を誘う呼び掛けで外出や外食の自粛の徹底を図る。

同法人は市内で約20の高齢者施設を運営。新型コロナウイルスが拡大した昨春から感染予防を促す厚生労働省や県のPRポスターを掲示していた。

感染症が長期化の様相を呈し始めた夏ごろから、職員の気を引き締めようと、風景やイラストを使ったオリジナルポスターを制作。

当初は真顔の写真に「自宅でも感染防止を」とストリートな内容だったが、自粛を押しつけるのではなく、自主的な行動につなげるために共感型に切り替えた。1、2月は緊急事態宣言を受け、「焼肉食べに行きたいけど2月は我慢」と涙を流す職員、「同居家族以外とは外食しない」と室内で筋トレに励む男性らを入れた5種類計150枚を作った。

今後も新しいデザインで制作を継続する方針。ポスターを担当する同法人広報部長の村上卓也さん(44)は「しんどいときこそみんなで乗り切りたい。重症化しやすくとされる高齢者を守る施設の一員として自覚につながれば」と話している。(長沢伸一)

施設内に掲示されたポスター。現場職員を登場させ、共感を誘うコピーで外出自粛などと呼び掛ける(三幸福祉会提供)

焼肉食べに行きたいけど2月は我慢！

緊急事態宣言発令中 COVID-19 清華苑

同居家族以外とは、外食しない

緊急事態宣言発令中 COVID-19 清華苑